

KAWA CHORD 2

クイックスタート

目次

1. インストール方法 (Windows)	2
1.1 VST3 プラグインのインストール方法	2
Windows 64bit	2
Windows 32bit	2
1.2 VST2.4 プラグインのインストール方法	2
Windows 64bit	2
Windows 32bit	2
2. インストール方法 (Mac OSX)	3
2.1 VST2.4 プラグインのインストール方法	3
2.2 VST3 プラグインのインストール方法	3
2.3 Audio Unit プラグインのインストール	3
3. アクティベーション方法	4
3.1 プラグインキーを生成する。	4
3.2 プラグインキーを kawa.works アカウントに登録する。	4
3.3 ライセンスキーをダウンロードする。	5
3.4 ライセンスキーをプラグインに登録する	5
4. クイックスタート Studio One 3	6
4.1 kawaChord 2 を読み込む	6
4.2 MIDI ノートの出力チャンネルの設定をする	6
4.3 MIDI アイテムとして配置する	7
5. クイックスタート BitWig Studio	8
5.1 kawaChord 2 を読み込む	8
5.2 使用したいソフトウェアシンセサイザーを読み込む。	8
5.3 MIDI アイテムとして配置する	9
6. クイックスタート Reaper 5	10
6.1 kawaChord 2 を読み込む	10
6.2 使用したいソフトウェアシンセサイザーを読み込む。	10
6.3 MIDI アイテムとして配置する	11
7. クイックスタート Logic	12
7.1 kawaChord 2 を読み込む	12
7.2 MIDI アイテムとして配置する	13

1. インストール方法 (Windows)

kawaChord2 は 専用のインストローラーを準備していません。自分でプラグインを VST プラグインフォルダに移動する必要があります。

1.1 VST3 プラグインのインストール方法

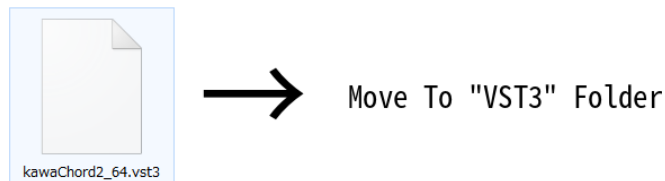
Windows 64bit

kawaChord2_64.vst3 (Free 版は **kawaChord2_Free_64.vst3**) を
C:\Program Files\Common Files\VST3\kawaChord2_64.vst3 へ移動します。

Windows 32bit

kawaChord2_32.vst3 (Free 版は **kawaChord2_Free_32.vst3**) を
C:\Program Files (x86)\Common Files\VST3\kawaChord2_64.vst3 へコピーします。

※ 32bit 版 WindowsOS を使用している場合、 C:\Program Files\Common Files\VST3\kawaChord2_64.vst3 へ移動します。



1.2 VST2.4 プラグインのインストール方法

Windows 64bit

kawaChord2_vst2_64.dll (Free 版は **kawaChord2_vst2_Free_64.dll**) を 使用する DAW で設定された VST プラグインフォルダへ移動します。

Windows 32bit

kawaChord2_vst2_Free_32.dll (Free 版は **kawaChord2_vst2_Free_32.dll**) を 使用する DAW で設定された VST プラグインフォルダへ移動します。

※ DAW によってインストールするフォルダは異なります。通常は C:\Program Files (x86)\VSTPlugins があります。

2. インストール方法 (Mac OSX)

kawaChord2 は 専用のインストーラーを準備していません。自分でプラグインを VST プラグインフォルダに移動する必要があります。

2.1 VST2.4 プラグインのインストール方法

kawaChord2-MacOSX.vst (Free 版は **kawaChord2-MacOSX-Free.vst**) を
~/Library/Audio/Plug-Ins/VST フォルダ_へコピーします。
 (または、Macintosh HD/Library/Audio/Plug-Ins/VST) フォルダ

2.2 VST3 プラグインのインストール方法

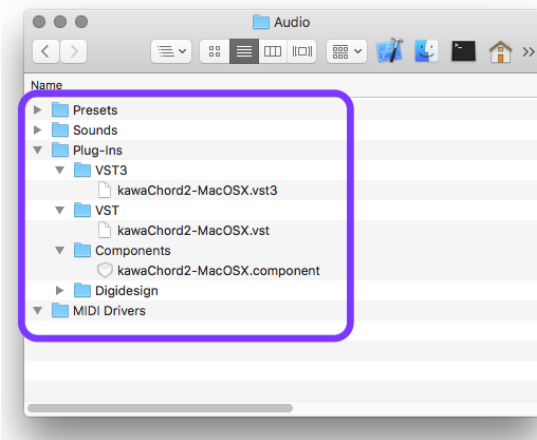
kawaChord2-MacOSX.vst3 (Free 版は **kawaChord2-MacOSX.vst3**) を
~/Library/Audio/Plug-Ins/VST3 フォルダ_へコピーします。
 (または、Macintosh HD/Library/Audio/Plug-Ins/VST3) フォルダ

※ 日本語環境では **Library** フォルダが **ライブラリ**と表示されるようです。

※ ライブラリ(library)フォルダをホームフォルダに表示する方法は、**オプションキー**を押しながら、メニューバーの**移動ボタンを押す**と出てきます

2.3 Audio Unit プラグインのインストール

kawaChord2-MacOSX.component (Free 版は **kawaChord2-MacOSX-Free.component**) を
~/Library/Audio/Plug-Ins/Component フォルダ_へコピーします。
 (または、Macintosh HD/Library/Audio/Plug-Ins/Component) フォルダ



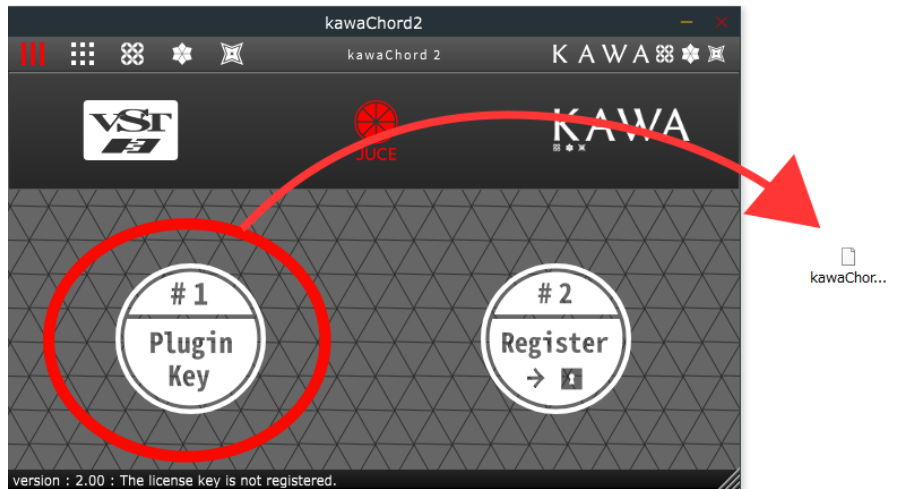
(左図)

~/Library/Audio/Plug-Ins
 フォルダに インストールしたところ

3. アクティベーション方法

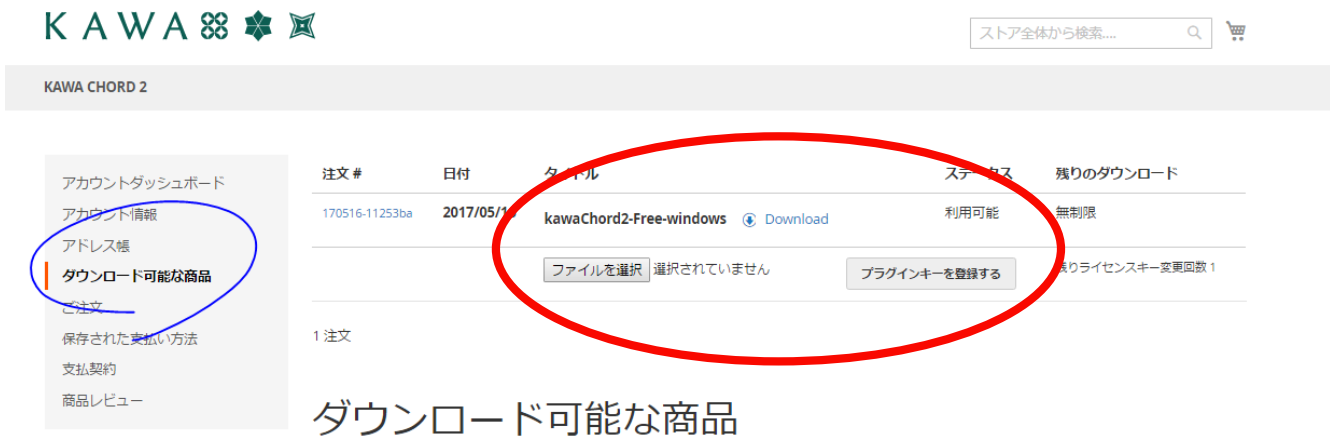
KawaChord を使用するためにはライセンスアクティベーションする必要があります。アクティベーションの方法について説明します。

3.1 プラグインキーを生成する。



kawaChord を初めて起動するとライセンスアクティベーションを促されます。左側のプラグインキーを生成ボタンを押してプラグインキーを生成します。

3.2 プラグインキーを kawa.works アカウントに登録する。



kawa.works アカウントの「ダウンロード可能な商品」タブへ移動するとプラグインのアクティベーションができます。ここで、1 で生成したプラグインキーを登録します。

3.3 ライセンスキーをダウンロードする。

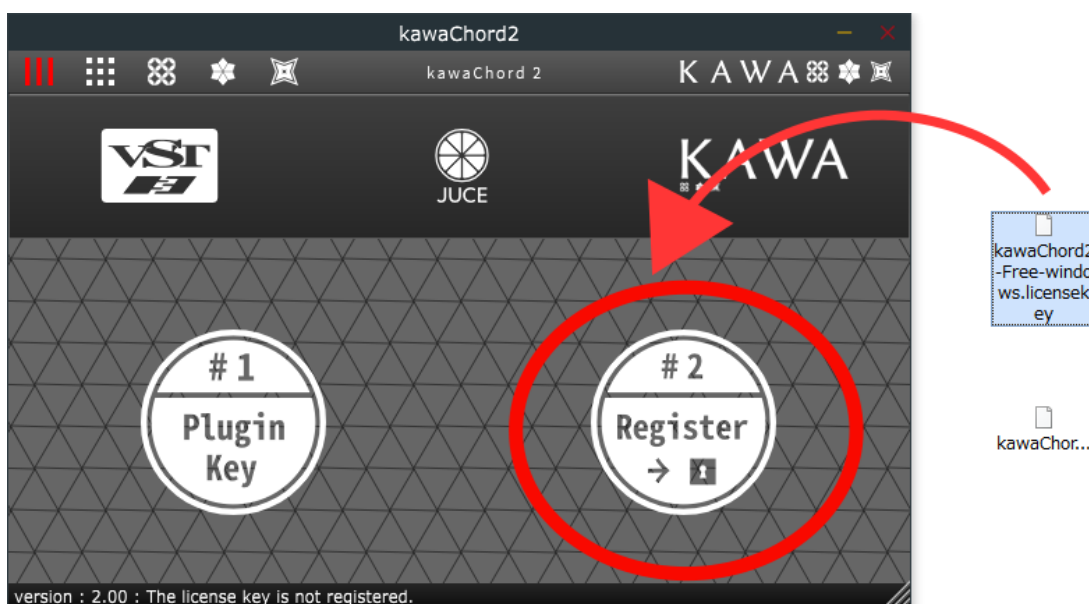
注文 #	日付	タイトル	ステータス	残りのダウンロード
170516-11253ba	2017/05/16	kawaChord2-Free-windows Download	利用可能	無制限

[📄 ライセンスキーをダウンロードする](#)
残りライセンスキー変更回数 0

1 注文

正しいプラグインキーであれば登録が完了し、ライセンスキーがダウンロード可能になります。

3.4 ライセンスキーをプラグインに登録する



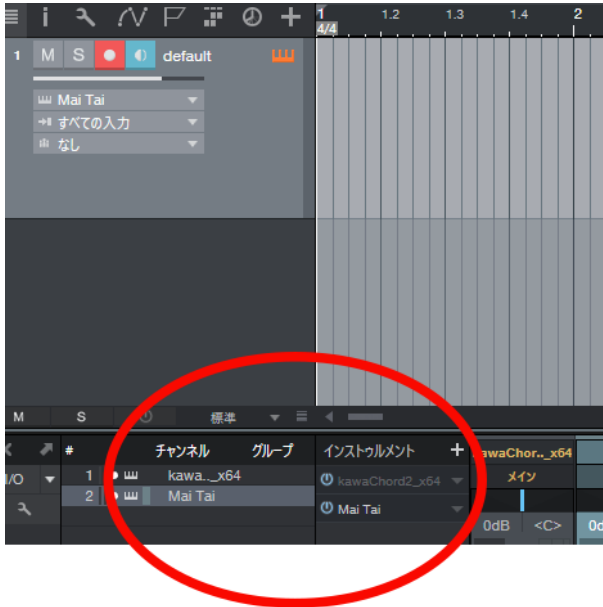
ダウンロードしたライセンスキーを右側の「登録ボタン」を使ってプラグインへ登録します。登録が完了するとアクティベーションが完了し使用することができます。

- VST2.4 プラグイン、VST3 プラグインそれぞれアクティベーションが必要ですが、同じライセンスキーを使用することができます。
- 商用版とフリー版を一緒にインストールすると使用する DAW によってどちらか片方しか認識されない場合があります。商用版を使用する場合はフリー版を別の場所に移す、または削除してインストールをお試しください。
- ライセンスアクティベーションの際、".licensekey" と ".pluginKey" と名前が似ていて間違えやすいのでご注意ください。

4. クイックスタート Studio One 3

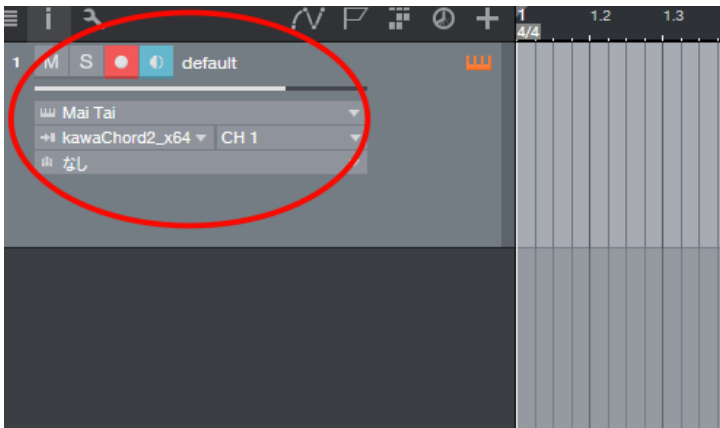
使い方を [StudiOne](#) で説明します。

4.1 kawaChord 2 を読み込む



[画像] kawaChord2 と StudioOne 純正の MaiTai シンセサイザーを読み込んだ様子

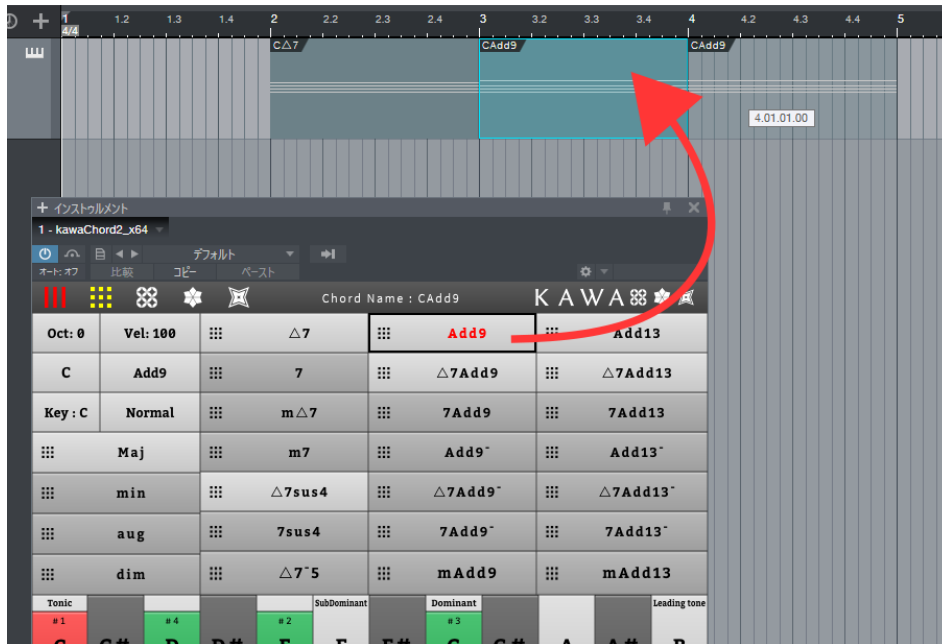
4.2 MIDI ノートの出力チャンネルの設定をする



MaiTai シンセサイザーのトラックの MIDI 入力に kawaChord2 を選択します。これで kawaChord2 プラグインからの MIDI 出力が割り当てられ、kawaChord2 のコードネームボタンを押すと MaiTai シンセサイザから出力されます。

4.3 MIDI アイテムとして配置する

kawaChord2 に設定された「修飾キー 1」を押しながら StudioOne のトラックヘドラッグドロップすると MIDI アイテムとして配置することができます。修飾キーの設定は「[修飾キーの変更について](#)」をご参照ください。



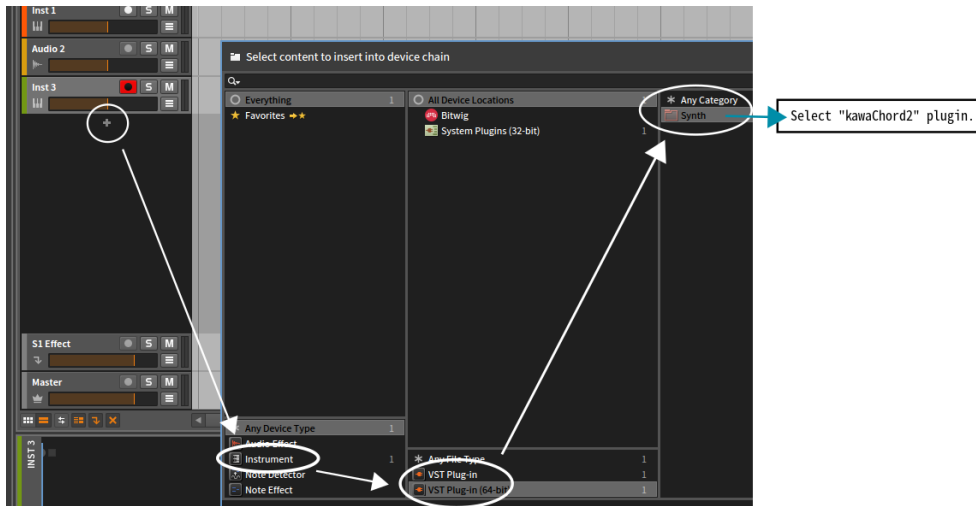
※ DAW へ直接配置できるのは StudioOne、Reaper、Bitwig Studio , Logic の 3 種を確認しています。



5. クイックスタート BitWig Studio

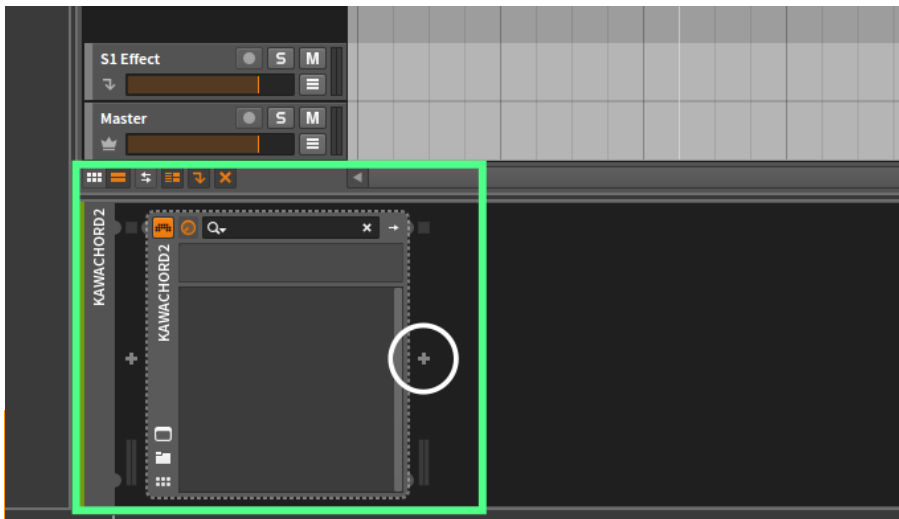
使い方を [BitWig Studio](#) で説明します。

5.1 kawaChord 2 を読み込む



トラックの下にある “+” ボタンを押して“kawaChord2”を選択しプラグインを読み込みます。

5.2 使用したいソフトウェアシンセサイザーを読み込む。



kawaChord2 の右側にある “+” を押して MIDI ノートの出力先として使いたいインストゥルメントを選択します。

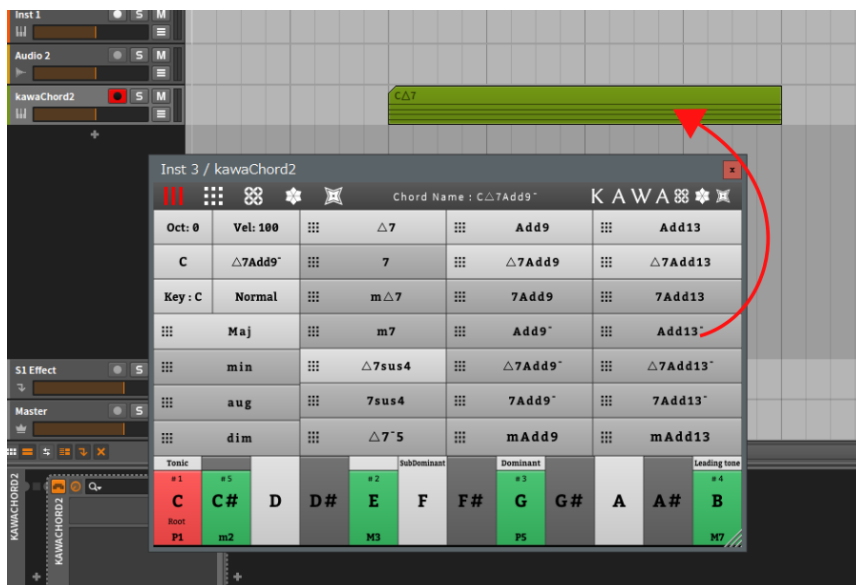
MIDI ノートの出力先に BitWig FM4 シンセサイザーを設定した様子。



これで kawaChord2 のコードネームボタンを押すと FM4 シンセサイザーから音が出力することができます。

5.3 MIDI アイテムとして配置する

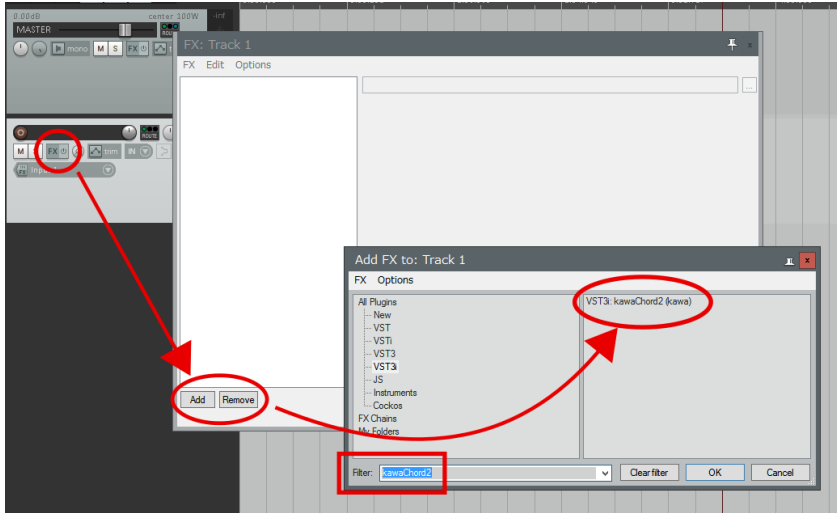
kawaChord2 に設定された「修飾キー 1」を押しながら トラックヘドドラッグドロップすると MIDI アイテムとして配置することができます。修飾キーの設定は「[修飾キーの変更について](#)」をご参照ください。



6. クイックスタート Reaper 5

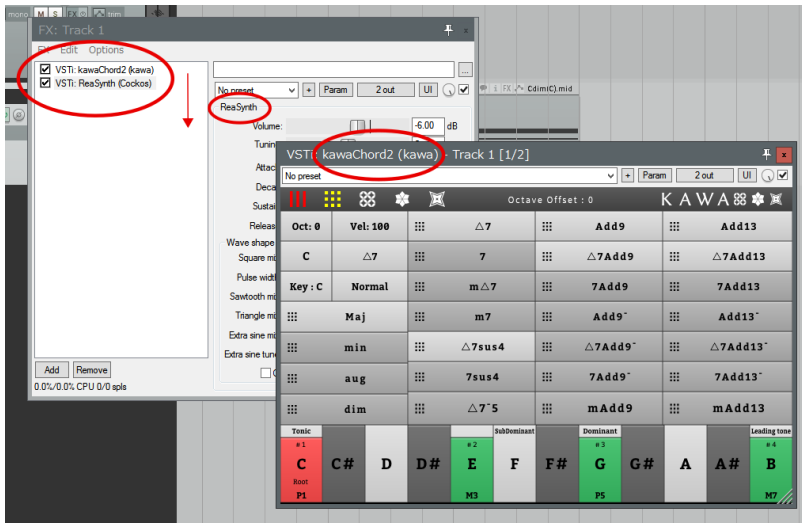
使い方を Reaper で説明します。

6.1 kawaChord 2 を読み込む



トラックを作成し、FX ボタン押して kawaChord2 プラグインを読み込みます。

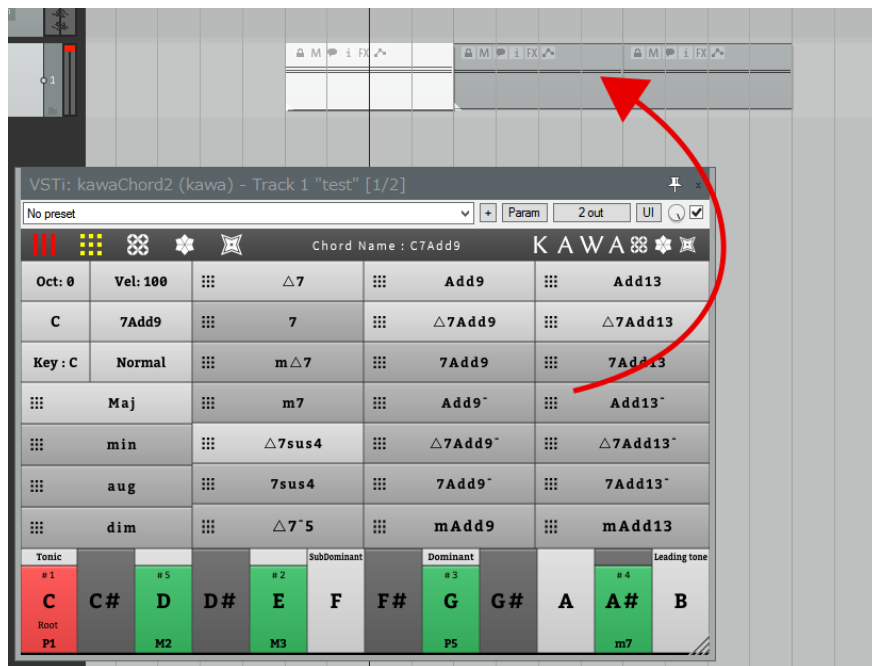
6.2 使用したいソフトウェアシンセサイザーを読み込む。



kawaChord2 の次に使用したいシンセサイザーを読み込みます。これで、kawaChord2 の出力した MIDI ノートを使いいたいシンセサイザーが受信することができます。(逆の順番ではできません。)

6.3 MIDI アイテムとして配置する

kawaChord2 に設定された「修飾キー 1」を押しながら トラックヘドドラッグドロップすると MIDI アイテムとして配置することができます。修飾キーの設定は「[修飾キーの変更について](#)」をご参照ください。



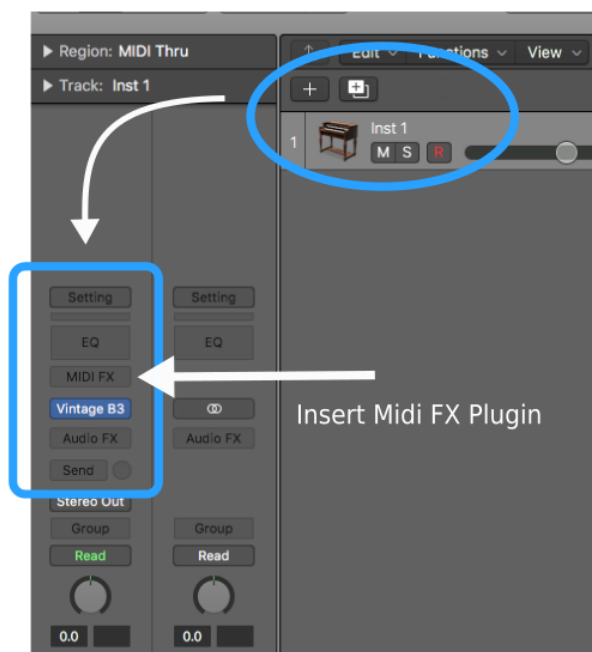
7. クイックスタート Logic

使い方を Logic で説明します。（ Mac OS X ）

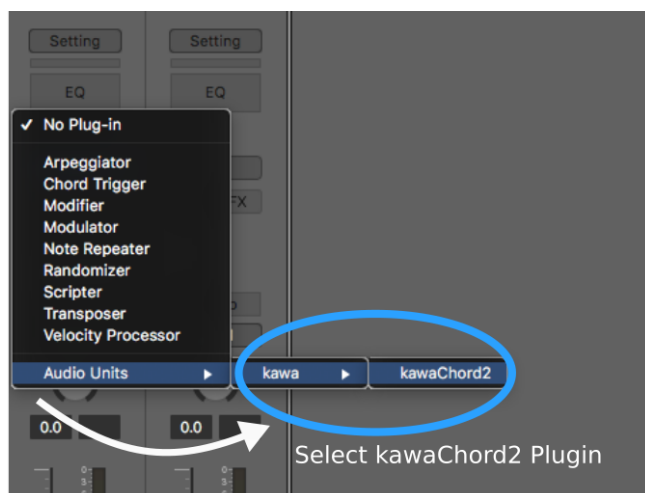
7.1 kawaChord 2 を読み込む

AudioUnit 版の kawaChord2 は **MIDI Effect Plugin** として動作します。この為、Logic ではソフトウェアシンセサイザーを追加して、そのトラックの MIDI FX に **kawaChord2** を読み込んで使用します。

※ MIDI Effect 形式の AudioUnit プラグインに対応している DAW は少ないので Logic 以外の Daw では VST プラグインを優先することをお勧めします。



（下図） kawaChord2 を選択しているところ



(下図) 読み込みが完了したところ



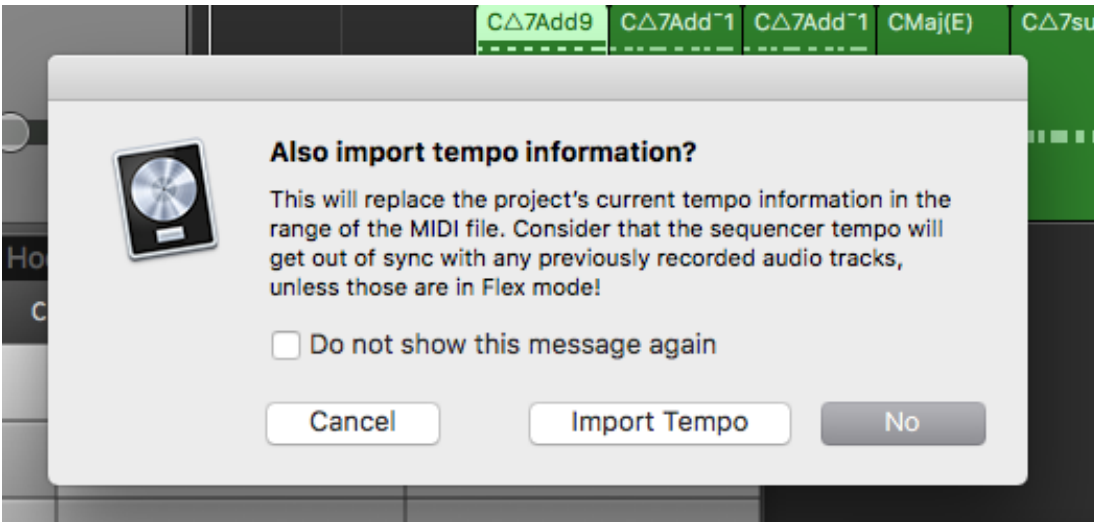
Logic 標準のソフトウェアシンセサイザーを使用する場合、一度、再生しないと「MIDI FX エフェクト」がアクティブにならない場合があります。読み込んだ後に音が再生されない場合、一度再生すると音が出ようになります。(現在、詳しく調べています。)

7.2 MIDI アイテムとして配置する

kawaChord2に設定された「修飾キー1」を押しながら StudioOneのトラックヘドラッグドラップすると MIDI アイテムとして配置することができます。修飾キーの設定は[「修飾キーの変更について」](#)をご参照ください。



トラックヘドラッグドロップした時に設定によって、Tempo Mapをインポートするかどうかのウィンドウが表示されます。表示しないように設定することもできますので、必要に応じて設定してください。



また、元の設定に戻したい時は

Preferences -> General -> Notification -> Reset Warnings

のボタンを押すと元に戻すことができます。

